

クマの被害を防げ！電気柵研修会開催

みなさんは電気柵をご存知ですか？

電気柵とはその名のとおりに、電気パルスを流したワイヤーによる柵です。野生動物の侵入を防ぐために農地やキャンプ場などの野外施設敷地を囲ったり、野生動物の通り道になっている場所に設置したりと、全国各地で活用されています。秋田県でも、クマによる被害を防ぐためのさまざまな取り組みのひとつとして電気柵の普及を進めるべく、市町村や地域振興局職員を対象として、11月18日に電気柵に関する研修会を開催しました。

研修会には、より具体的・実用的な内容となるよう、講師として電気柵業者さんをお招きしました。午前中の座学では、電気柵の仕組みや張り方のノウハウ、各地での活用事例などについて、動画を交えながらご説明いただきました。午後は野外に出て、さまざまな種類の電気柵を見学したり、実際に電気柵を張ってみたいりしながらの実習を実施しました。研修後、参加者からは「これまで電気柵は効かないと思っていたが、きちんと張ればかなり効果があるものだとわかった」「これからは住民の方々に対し自信を持って電気柵の説明ができる」などの感想が寄せられました。県内における電気柵の普及が進むことが期待されます。

そもそも…なぜ電気柵が良いの???

クマは「オイシイ」経験をすると、何度でも・何年でも、その場所にやってきます。その結果、人の生活圏に日常的にクマが近付いたり侵入したりすることに繋がってしまいます。したがって、「クマに食わせてやらない」ことは、クマの出没を抑えるための重要なポイントのひとつなのです。野生動物対策グッズはたくさんありますが、音や光など、痛み刺激の無いグッズには、いずれクマは慣れてしまい、効果は薄れたり無くなったりします。一方で、電気柵はクマに電気ショックという「痛み」を与えます。たった3本の細いワイヤーですが、痛みを経験したクマは電気柵を恐れ、その先に進むことができなくなります（痛みはありますが、動物にケガをさせるものではありません。もちろん、人がうっかり触ってしまってもケガはしません）。

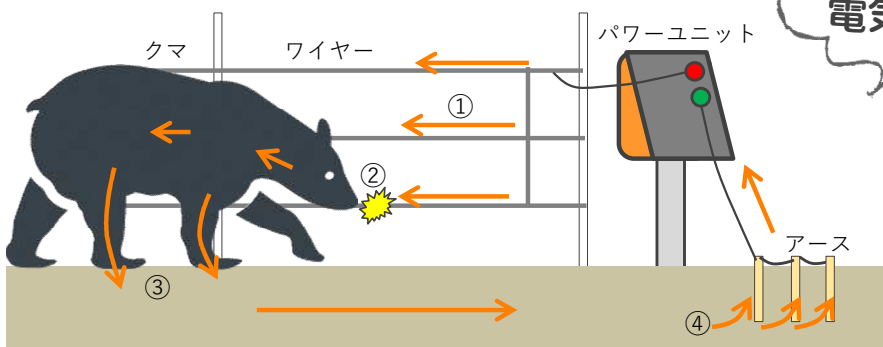
張り方が甘いと、その「隙」をついて電気柵を突破されることはありますが、逆に言えば、「隙」をつかなければ柵を突破できないくらい、クマは電気柵を嫌がっているということ。「きちんと設置すればクマの侵入を止められる」ことは、多くのデータ・実績によって裏付けされています。人の生活圏でクマに「オイシイ」経験をさせないための選択肢のひとつとして、電気柵の活用を検討してみましょう！



写真（上）座学の様子。クマが逃げ帰る様子など、参考になる動画をたくさん見せていただきました。

（中）実習会場に設置された電気柵。地形に合わせて設置する方法を教えてくださいました。

（下）簡単に設置できる新しい電気柵「スマートフェンス」。参加者も設置作業を体験しました。



電気柵のしくみ！

- 電気柵のワイヤーにはパワーユニットから電気が流れています（①）。
- ワイヤーに触れると（②）、クマの体を伝って地面に電気が流れます（③）。
- 地面に流れた電流がアースから回収され（④）、電気の回路が成立します。

8月

- ✓ 出前講座（市民向け：小坂町・鹿角市）3件
- ✓ 出没・被害現場確認、対策指導（小坂町・鹿角市・仙北市・秋田市・横手市）6件
- ✓ 集落点検（鹿角市）1件
- ✓ 対策会議（畜産関係）1件

9月

- ✓ 人身事故現場検証（鹿角市・岩手県八幡平市）2件
- ✓ 出前講座（小学生、市民、警察官向けなど：鹿角市・大館市・三種町・仙北市・秋田市）6件
- ✓ 集落点検（鹿角市・大館市）2件
- ✓ クマパネル展（由利本荘市：狩猟フォーラム）1件

10月

- ✓ 人身事故現場検証（藤里町）1件
- ✓ 出没・被害現場確認、対策指導（能代市）1件
- ✓ 住宅地出没対応（横手市・羽後町）2件
- ✓ 出前講座（小学生、市民向けなど：大館市・北秋田市・仙北市）3件
- ✓ 集落点検（藤里町）1件
- ✓ 対策会議（住宅地出没対応など）3件
- ✓ クマパネル展（秋田市：県庁1階）1件

11月

- ✓ 出没・被害現場確認、対策指導（羽後町）1件
- ✓ 出前講座（教職員、小学生向けなど：北秋田市・潟上市・秋田市）3件
- ✓ 研修会（電気柵）1件
- ✓ 住宅地出没対応訓練（実地訓練：鹿角市）1件

12月

- ✓ 出前講座（警察官、市民向けなど：能代市・秋田市）5件
- ✓ 住宅地出没対応訓練（机上訓練：秋田市）1件

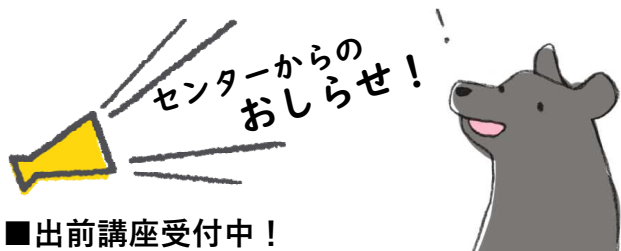
7月のセンター設置以降、24件の出前講座を実施し、約1,300名の方にクマの生態や対策方法などをお伝えしてきました（2020年12月25日現在）。クマによる被害を軽減するため、今後も普及を続けて参ります！

忌 避材を埋め込んだ柵、 検証試験の結果は…!?

あきたツキノワだよりvol.1でお知らせしていた、トウガラシ成分の忌避材を埋め込んだ柵の効果検証試験が11月末に終了しました（10月末までの予定を1ヶ月延長して実施しました）。試験期間中、自動撮影カメラで656件の動画が撮影されました。その大半はノウサギで、クマが撮影されたのは1件のみでした。映っていたのは柵を背に足早に立ち去る姿。クマがどのように柵に近付き、何をきっかけにして立ち去ったのか、肝心な場面は撮影されていませんでしたが、ロープが大きく揺れていたことから、トウガラシ成分の染みこんだ木材のついたロープに触れたことは間違いないでしょう。今回の試験では、効果をしっかりと検証するにはデータが少なかったため、県としては来年度もさらなる検証が必要であると考えています。この柵の忌避効果がはっきりと示されれば、クマの侵入を抑制する選択肢がひとつ増えることとなります。今後も引き続き、検証試験にご注目ください。



写真 山側（画面右側）へ立ち去るクマ。草で隠れて分かりづらいですが、ピンク点線の部分にクマのお尻があります。10月15日15:37撮影。



■出前講座受付中！

クマの被害に遭わないために、生態や対策を学んでみませんか？学校や町内会など、県内どこでも出張いたします。お問い合わせは秋田県自然保護課（018-860-1613）まで。

■人身事故記録を公開しています

今年度発生した人身事故について、現地調査の結果をまとめ、県ホームページで公開しています。事故発生地点の写真や、どのような対策が必要だったのかなどを掲載していますので、事故防止にお役立てください。

秋田県 ツキノワグマ

